

教育評価部会

1 研究の内容

1 研究主題 「生きる力をはぐくむ評価のあり方」

2 主題設定の理由

変化の激しい実社会を主体的に力強く生きていく力を培うという観点から、近年子どもたちに求められる力が『生きる力』（確かな学力，豊かな人間性，健康・体力）であり，新学習指導要領においても，「児童に生きる力をはぐくむことを目指し，創意工夫した特色ある教育活動を展開する中で，基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ，これらを活用して課題を解決するために必要な思考力，判断力，表現力その他の能力をはぐくむとともに，主体的に学習に取り組む態度を養い，個性を生かす教育の充実に努めなければならない」と考えが示されている。そこで，各学校における児童・生徒や地域の実態に応じた教育課程の編成・実施とそれに伴う指導方法の工夫が必要になってくる。

また，「児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに，指導の過程や成果を評価し，指導の改善を行い学習意欲の向上に生かすようにすること」と評価についての考えが示されている。このことから『生きる力』特に「確かな学力」の定着を考えると，わたしたち教師の指導をふりかえり改善することと，適切な評価と支援により児童の学ぶ意欲を高めることは，極めて重要であると考えられる。日常行っている評価を見直し，児童の学び・変容を丁寧に見取り，具体的・積極的な評価を行うことで次の学習活動への意欲を高め，確かな学力の定着を図りたいと考え，本テーマを設定した。

昨年度は1枚ポートフォリオ評価法に焦点を当て，作成・活用のしかたを研究し，国語科の授業で検証を行った。その結果，1枚ポートフォリオを活用した評価が，児童の自己評価，教師による評価の両面から見て有効であるという成果が得られた。そこで今年度はさらに研究を深め，他教科・他領域にも広げていく。

3 本部会における道徳についての評価の考え方

(1) 教師が子どもを理解するためのもの

道徳の授業を行うときには，教師は子どもの思いや考えをしっかりと理解したうえで，子ども自身が見方や感じ方，考え方をより一層広げたり深めたりできるよう導いていかなければならない。子ども一人ひとりの道徳性の伸びを共感的に見取っていくために1枚ポートフォリオを活用していく。

(2) 子どもが自己の成長や変容を自覚するためのもの

1枚ポートフォリオに書くことで，子ども自身の考えが明確になり，さらに授業を通して，子どもは自分の内面に目を向け，自分の考えの変化に気づくことができる。

(3) 教師の指導計画や指導方法を改善する

子どもにつけさせたい価値（ねらい）に迫るためには，発問や1枚ポートフォリオシートの文言をより精査していく必要がある。そのため，教師自身の授業の改善につながる。

4 研究の具体的内容

(1) 一枚ポートフォリオ評価についての学習(山梨大学 堀 哲夫教授, 書籍)

ア, 堀教授を招いての講義、及び著書「1枚ポートフォリオ評価小学校編(日本標準)」を用いた学習を行い、1枚ポートフォリオ評価の有用性、具体的な形式、活用の仕方について理解を深め、共通認識をもつことができた。

イ, 道徳における1枚ポートフォリオ評価の活用の仕方について助言を得ることができた。

(2) 一枚ポートフォリオを活用した授業研究

3学年 道徳「なぜ、あいさつをするのか」(2-(1)礼儀)

2学年 道徳「面倒がらないで」(1-(2)勤勉・努力)

II 成果と課題

1 成果について

- ・道徳における1枚ポートフォリオの有効性が確認できた。児童の1枚ポートフォリオの記述内容から、道徳的価値の高まりや、子どもの変化を見取ることができる。また、児童自身が読んで自分の変化を知ることができることから、児童・教師にとって、意欲を高め成長を認められる有効な手だてであるといえる。
- ・山梨大学の堀教授を招いての学習会は、自分たちの研究を見直す上でも、今後の研究をどう進めていくのかの方向づけをする上でもよかった。1枚ポートフォリオの考え方や活用のしかたを共通理解することができた。
- ・2回の授業実践では、授業の流れや教材について部会で話し合ったり、事前実践をして様子を伝え合ったり、資料を集めたり、部会全体で協力して授業作りができてよかった。道徳においても1枚ポートフォリオが有効に活用できることが実証でき、心の成長の記録として価値あるものとなった。

2 課題について

- ・道徳における1枚ポートフォリオの活用に関しては、時間ごとの価値の変化をどう見るか、欠席した児童がいたとき、その時間のフォローをどうしていくかなどの課題が出された。情意面を評価するのに有効な方法の一つとして、さらに具体的に読み取り方を学んでいく必要がある。
- ・今年度は道徳において1枚ポートフォリオを活用した評価について学習し授業研究を行ったが、他教科、他領域での活用、高学年ではどう使えるか、ポートフォリオとワークシートの関連性の工夫などが課題となる。
- ・研究テーマにかえて、どういう評価が望ましいのか、来年度も1枚ポートフォリオの研究を続けていくのか、他の評価法の研究をするのかを、もう一度考えてみるのも必要である。

III 成果物

授業案 1枚ポートフォリオ

3学年 道徳「なぜ、あいさつをするのか」(2-(1)礼儀)

授業者 小林 光三 (目下部小)

2学年 道徳「面倒がらないで」(1-(2)勤勉・努力)

授業者 高野恵美子 (祝小)

(部長 中村 潤子)